

コミュニティ中野小屋通信

第 3 号

コミュニティ中野小屋事務局(中野小屋連絡所内) 〒950-2125 新潟市西区中野小屋590番地4

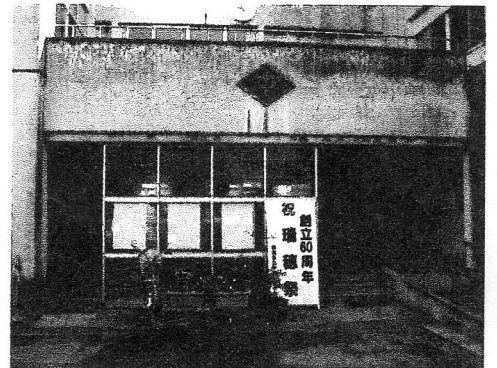
瑞穂祭開催

実行委員長 小出正榮

第三回瑞穂祭が、去る一〇月二八日開催された。前日の準備は、降り続ける雨の中での作業、実行委員と当番自治会長の皆さん、JA加工部、JA女性部の入達、予定どおりの作業が出来、両小学校児童の作品展示、九点の生け花、写真、書、絵、いろいろな手芸作品等の配置、全て予定どおりに飾り付けた。当日は、秋晴れの穏やかな日和、中学校の創立六〇周年の祝いも兼ねた、花火の祝砲で九時に開会、昼頃の人出は、五百人位、用意した豚汁も、黄な粉餅も完食、JAの出店も完売、中学校のグラウンドも手軽なゲーム感覚のニュースポーツで子供達を中心に大賑やか、展示室では、地区内にこれだけの芸術を趣味にしている人達がおられるのかと、観賞しながら作品に見入っている方々も多かった。

この瑞穂祭が、地区内のメーン行事として根付く事を願っております。

協力頂いた全ての人達に心から御礼申し上げます。



中野小屋中学校第一会場



JAみらい中野小屋支店第二会場

中野小屋中学生徒会 西川清掃感謝状授与

一〇月二八日(日) 中学校と共催で瑞穂祭が行われた。中野小屋中学校は創立六〇周年を迎え、記念瑞穂祭となった。その記念式典で中中生徒会が長年続けて



表彰を受ける保健環境委員長の佐藤舟馬君

いるボランティア活動の西川清掃に対して西区長より感謝状が授与された。その後「生徒代表喜びのことば」で生徒会長の長谷川拓也君は、「中野小屋中学校が創立六〇周年を迎えた、この記念の年にさまざまな活動を行えることを、いま在学している生徒の一人として大変うれしく思います。」と述べ、「学校は、私たちの成長を支えてくれます。学校が生徒を支え、育て、生徒が学校を発展させ、伝統を繋いでいきます。その学校の歴史を感じ、感謝することが大切なのだ」と語りました。「と生徒としての姿勢を質した。最後に「学校は知識を学ぶだけの場所ではなく、私たち生徒一人ひとりが日々の学校生活を大切に過ごし、どの活動にも意欲的に参加していくことが大切。中中の伝統と中中スピリットを次世代へと繋いで

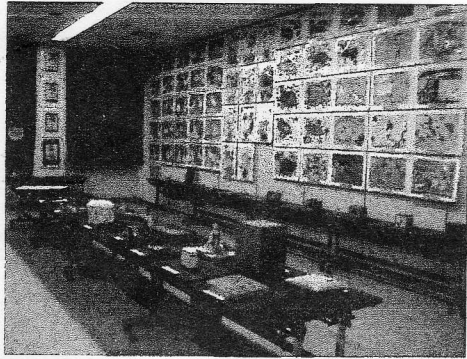
いきます。」と結んだ。生徒会長の言葉にもあるように、生徒が学校を発展させ、伝統を繋ぎ、何事にも意欲的に参加する、と言う中中スピリットがこの度の表彰に繋がったものと確信した。これからも頑張つて次の世代へと繋いでいってください。



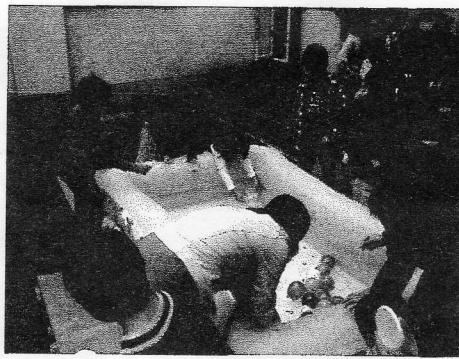
中学校でのフリーマーケット



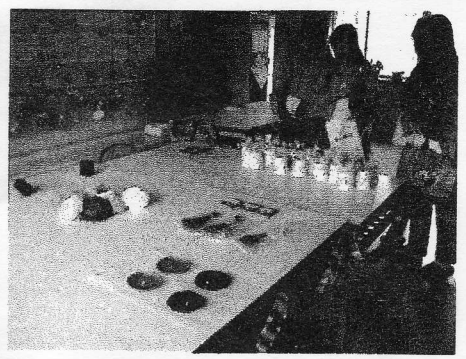
中学生の音楽発表会



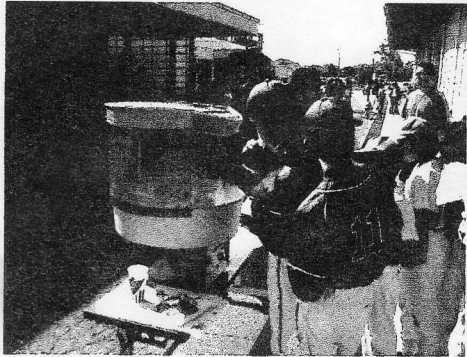
小瀬小、笠木小児童全員の作品展示



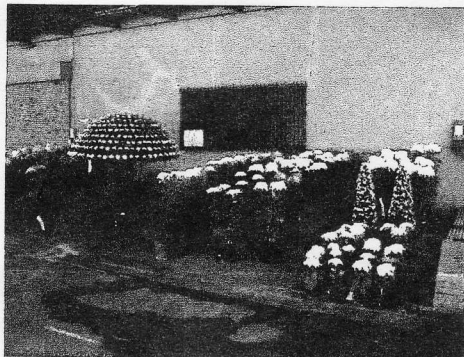
スーパーボール&ヨーヨーすくい



中学校でのみのり焼き販売



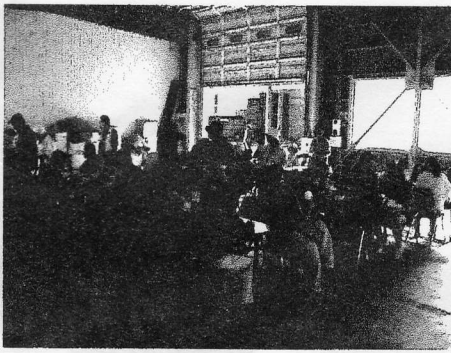
わたアメ体験に行列する子供達



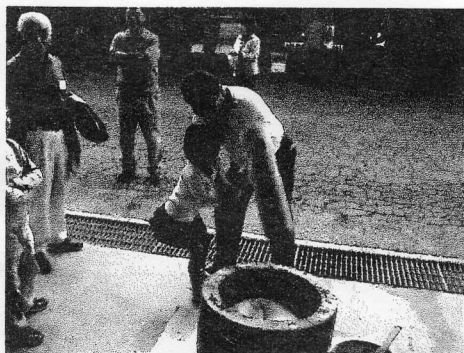
菊花会の作品展示



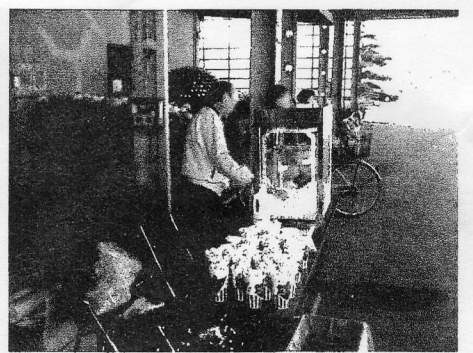
一般者作品を観覧する西区長



つきたてのもちを食べれるコーナー



餅つきの体験



ポップコーンコーナー



中学生と合同の食堂



花木の直売コーナー



J A の直売コーナー

□ 今年度三回発行しましたが、いかがでしたでしょうか。皆様のご意見をお聞かせ下さい。重ねて新聞の名前(愛称)を募集しております。尚、関係団体の皆さんから、我々もこの様な活動をしているので、記事にしてほしい等の要望があれば連絡下さい。連絡先〇二五―二六二―二二七三事務局まで。

事務局だより



中学校グラウンドでのスポーツコーナ